



ほっとするね
緑の府中

第 62 号

指導室だより

編集・発行 府中市教育委員会教育部指導室
〒183-8703 府中市宮西町2-24
電話 042-335-4063

II 第4回「府中の教育を語る会」

理科教育の充実」をテーマに 理科の魅力を語る

第4回「府中の教育を語る会」
が、11月1日(土)に生涯学習センターで開催された。

東京都は、11月の第一土曜日

を「東京都教育の日」とし、都民の教育への関心を高め、教育に関する取り組みを都民全体で推進し、その充実と発展を目指している。

府中市においても「府中市学校教育プラン21」に基づき、府中市教育の日として教育に対する市民の関心を高め、保護者・地域・学校・教育委員会が共に考える機会として「府中の教育を語る会」を開催している。

今年度は、「理科教育の充実」をテーマに高校生の研究発表や実験ショーや予定されていたので、子どもたちも大勢参加し、その他保護者、地域住民、教育関係者などで会場は埋め尽くされた。

◆研究発表

司会者 高岸 佑太さん
発表者 菅原 勇太さん

なぜゾウリムシ・ミドリゾウリムシの『培養』についての発表

(1) はじめに
なぞゾウリムシ・ミドリゾウリムシを選んだかというと、日本原生動物学会会長の山口大学藤島教授が、全国の中高校生を対象に「生き物を見た感動と、不思議さを味わってほしい」と、研究用に培養しているゾウリムシの無償提供を始めた。そこで、山口大学からゾウリムシ・ミドリゾウリムシを教育センターに送つてもらった。

しかし、室温が高すぎたため全滅してしまった。そこで、どのように培養していくらよいのか解決するために早急に研究

○培養方法
試験管に試料と培養液を入れた。ボックスタ内に水温が25℃を超えた場合には、水を凍らせたものを入れ水温を下げる。

○結果
・ゾウリムシの密度

(2) 実験器具・使用物品
・ワラの煮汁の作成
・栄養調整食品培養液作成
・試験管培養I

・試験管培養II
・試験管培養III
・試験管培養①

温度を20℃～25℃の範囲に保つた。

試験管培養①と同じ方法で培養する。
蛍光灯の下で培養する。

○培養方法
十分な光合成をさせることによって増殖できると考え、昼間2000ルクスの蛍光灯の下で培養する。

○培養管培養②
前回の結果からワラ煮汁の培養液の方が、ゾウリムシの発生率が高いのでワラ煮汁I・IIを中心で実験することとした。

○試験管培養③
液の順となる。
・ミドリゾウリムシの密度ワラ煮汁II／ワラ煮汁I／栄養調整食品培養液



・ゾウリムシを培養するに当たって一番重要なことと考えられるのは、「温度」である。それは

比較的低温な部分に集まることが分かったからである。ゾウリムシの培養は、『温度管理』と『培養液』の二点を押さえることが大切である。

○今後の研究活動の発展の方向

ゾウリムシは植え継ぎをして

継続的に培養できた。20℃を保つことでよく増殖した。これから冬にかけて気温が下がっていくので、その条件下でどのように個体数が増減していくか調査をする。

ミドリゾウリムシはうまくいっていなかったので、引き続き最適な培養液、光の加減、温度の関係を研究していく。

○中学二年からの3年間の感想

としては、学習研究することの楽しさや新しい発見の感動を肌で感じることができてよかったです。

◆サイエンスショード

NPO法人 ガリレオ工房

ガリレオ工房を主宰する東京大学教養学部付属教育開発機構特任教授滝川洋二先生の指導の下、楽しい実験が展開された。

子どもも大人も科学の意外性に吸い込まれるように見たり、実験に参加したりしていた。

実験1 蛍光灯や電球を電子レンジの中に入れて、電源を入れた場合どのようになるか。

○電源を入れると螢光灯が点灯し会場が沸く。螢光灯の内部に



方がよく曲がる。

○光の進み方が変わり、実際の物より上に見える。位置が逆転する。遠くの景色が浮かび上がる現象がある。

富山県で見られる蜃気楼という現象である。

実験3 全員で実験を行う。

発光ダイオードとストロー、電池で発光ダイオードを光らせる。ジェルに光を当てるとき赤い光が曲がる。光は、直進するのが普通であるが、ジェルやレンズなど透明な物が間にいると屈折する。

実験4 全員で実験を行う。

発光ダイオードを2本つなげて光を点灯する。赤+黄、青+緑、赤+紫などの光ができた。赤+緑+青→白色である。

「現象には、必ず原因がある」

実験2 少年のマンションと少年が見たという車の位置関係を調べる。

「現象には、必ず原因がある」とある。水槽の中に砂糖水を入れる。光を当てると水中で下へ曲がって進む。濃い砂糖水の

○府中市立白糸台小学校

小野 正裕教諭

○府中市立府中第三中学校卒業生 菅原 勇太さん

国富 尊指導主事

・コーディネーター

○府中市教育委員会

国富 理科が好きになった理由は何ですか。

滝川 子どもの頃から実験が好きだった。高校生の時に、朝永振一郎さんがノーベル賞をもらいうというニュースにも影響された。一番目が湯川秀樹さんでと振一郎さんがノーベル賞をもらっている。物理学者だった。湯川さんも物理学者だった。湯川さんは「時間、空間というのは飛び飛びなんだ。それをつなぐのが科学だ。孟子や孔子の考えの中にも入っている」と言っている。

科学は、現象だけでなく、考え方でもおもしろいものだと思った。

また、アインシュタインは、バートランド・ラッセルらに呼びかけた平和な世界をつくろうとしていた。こうした影響が理系へ進もうとした原動力である。

普後 理科が好きになった理由は、小さい頃から虫が好きだった。公園に行って虫を捕つたり、魚を捕つたりしていた。小学四年の時、多摩動物公園の昆虫教室に入った。昆虫の知識が深まった。五年の時、小学生科学教室に入り、生き物以外の科学についても興味をもつようになった。

国富 平成17年度の「青少年の自然体験活動等に関する実態調査報告」によると、日の出、日

時計をくれた。分解したら大変おもしろかった。こうしたこと

が理系に進むきっかけになった。

小野 昭和30年代保谷に住んでいたが、雑木林があり、千川上水では螢を捕まえたり自然の中で遊んだ。五年生の時、酸素の実験をやり、ものを燃やす実験がおもしろかった。家でもやってみた。過酸化水素水と二酸化マンガンが必要だが、二酸化マンガンは、電池に入っているので、ベンチを使って取り出したが、ベンチをそのままにしておいたので、翌日錆びてしまって、父に怒られた思い出があるなど、とにかく実験が好きだった。

菅原 理科が好きになった理由は、体が弱かつたため、転地療養

が時々勝浦に来たが、ある時、



14歳の子どもの数は、1760万人から750万人位と現在の半分以下になる。といふことは、理科をやる人も少なくなる。これは日本にとって危ない。

普後 理科の時数が減り、実験や実習の機会も少ない。大学に入ってくる学生でも中高校時代に実験や実習をほとんど経験してこない。農学部の学生でも「水田になぜ稻を植えなくてはならないの?」稻を育てていてどう育つかを知らない。「田んぼはヌルヌルして気持ちが悪い」「畑ねずみが気持ちが悪い」という現状である。経験してきていないので実験のセンスが悪いし、手順も悪い。失敗しても失敗した理由を考えようとしている。手間だ知識を知恵にすることができるいない。

滝川 知識や学力が落ちているとは思わない。自然体験が減ってきている。経験不足が興味・関心に影響している。これは子どもたちの責任でなく、社会環境の変化に因る。それに理科の時数も減った。私が子どもの頃は、1043時間だったが、現在は、640時間に減った。理科専攻の教員になるための履修単位も少ないと、社会のしくみにもよくない。これから四十年後に0

市でそうした学習や遊びができるよう公園を造ってほしい。
菅原 理科の授業でおもしろいのは実験だ。自分で見て、感じながら実験を進めることで分かりやすくなる。難しいと感じることは計算だ。説明がなく、理屈が分からないと難しい。
国富 理科の可能性ということを考えていきたい。

◆これから理科教育を考えたい。子どもたちに興味を湧かせるようにしていくには、どのようにしたらよいか。

滝川 実験をやって興味・関心を惹くこと。そのためには教員を増やしたり時間と金をかける必要がある。イギリスでは意欲的な子どもに1年間研究をさせレポートを提出させ大学入試のポイントになるということでもしれている。今日の研究発表した生徒のように育っていくのがよい。

普後 理科の魅力をどうするか、特段構える必要はない。物に対する接し方をどう与えるか、きっかけをどう与えるかを考えていいく。鉛筆を削る時、今は鉛筆削り器を使ってさっと削れるが、私の頃は、肥後守を使つて削つた。実験道具がなければ創意工夫した。物がないと実験ができる魅力は、創意工夫することにあ

番飛びか体験すればよい。こうやつたらよく飛びなど比較しながら工夫すればよい。このよう

に何かきっかけを与えることが必要である。田植え機などの農機具も動き方は人間の手の動きなのである。真似た人の叡智を伝えていく。子どもは自分で調べ、自分でまとめていくことが必要である。

小野 小学校の場合には、理科を専門にやってきた教員が少ない。五・六年生を担任すると実験の準備をしたり、実験がうまくいくか不安になつたりして理科室に行くことが億劫になる傾向がある。実験ではうまくいくことは限らない。失敗してもチャレンジすることが必要である。

菅原 実験や野外学習は楽しい。実験は強いインパクトを与えてくれ、分かりやすくてよい。

国富 主体的に取り組むためのきっかけが必要である。

◆最後に子どもたちに理科の魅力を伝えてください。

滝川 理科はいろいろ工夫できることがおもしろい。そして、おもしろいと思ったら、徹底的に遊ぶ。その中からみつけていくことがおもしろい。そして、おもろいと思ったら、徹底的に遊ぶ。そこには外で遊んでいた現地で実際に見た時、友達植物の名前を事前に調べていくと、現地で実際に見た時に気付く。八ヶ岳移動教室では、植物の名前を事前に調べていくと、現地で実際に見た時、友達に会ったような身近さを感じる。

菅原 何事にも疑問をもつことがある。それには外で遊んでいた現地で遊んで疑問をもつことがある。それには外で遊んでいないと疑問も出てこない。自然の中で遊んで疑問をもつ。それを自分で解決していくと楽しい。理科の授業でも一生懸命に調べて解決した時が嬉しかった。

滝川 自然体験が減ってきていたことを報告している。

◆子どもの理科における現状についてどのように考えているか。

滝川 知識や学力が落ちていることは思わない。自然体験が減ってきている。経験不足が興味・関心に影響している。これは子どもたちの責任でなく、社会環境の変化に因る。それに理科の時数も減った。私が子どもの頃は、1043時間だったが、現在は、640時間に減った。理科専攻の教員になるための履修単位も少ないと、社会のしくみにもよくない。これから四十何年後に0

やつたらよく飛びなど比較しながら工夫すればよい。このよう

に何かきっかけを与えることが必要である。田植え機などの農機具も動き方は人間の手の動きなのである。真似た人の叡智を伝えていく。子どもは自分で調べ、自分でまとめていくことが必要である。

菅原 理科の授業でおもしろいのは実験だ。自分で見て、感じながら実験を進めることで分かりやすくなる。難しいと感じる

理科の実験・観察の充実に向けて

理科指導支援員研修会Ⅱ

◆「新学習指導要領」
理科について
1 子どもたちの現状を知る
①読解力や記述式の問題に課題

◆講師 府中市教育委員会
長田 和義指導主事
2 言語力の育成・活用の重視
小中学校を通じた内容の一貫性を重視した。

理科指導支援員のための研修会が、10月23日、府中市立教育センターの科学教室で行われた。始めに新海功教育長から挨拶があり、次のように話された。
理科指導支援員の配置は、今年度の本市の重点施策の一つである。新学習指導要領において、理科の教師と支援員が絶妙のコンビネーションで、実験・観察を進めていた。

「理科離れ」が言われているが、子どもは本来モノにかかわる教科である理科が好きである。今後の理科教育を充実させていくためにも、皆さん之力を是非お借りしたい。

◆講師 府中市教育委員会
長田 和義指導主事
3 理科について
①言語力の育成・活用の重視

◆「新学習指導要領」
理科について
1 子どもたちの現状を知る
②言語力の育成・活用の重視

◆講師 府中市教育委員会
長田 和義指導主事
2 言語力の育成・活用の重視

○基礎的な知識・技能は身に付いているが、知識・技能を実生活の場面に活用する力に課題

②自然体験の機会の減少
・チョウやトンボなどの昆虫をつかまえたことがほとんどない。18・7%から34・9%へ

・海や川で泳いだことがない。
9・8%から26%へ

○基礎的な知識・技能の習得を重視する。そして、身に付けた能力を、その後の学習や生活に生かすことができるようになるとともに、自分自身のものの見方や考え方をもつてるようにする。

○確かな学力の定着を図る。

○基礎的・基本的な知識・技能の習得

○思考力・判断力・表現力等の

○火を使うときには、換気と吸

水の量を適量に入れさせる。

○熱した試験管に触ってやけど

させないようにする。

○ガスバーナーを開くことと、マッチを点けることは、一人

で責任をもたせる。分担する

○ガスバーナーの開栓と着火

のタイミングがずれて事故に

つながることがあるので注意

する。

○実験の業務を通して

意欲 ○科学的な探究活動

○実感の伴う理解 ○自ら学ぶ

○確かな学力の定着を図る。

○基礎的・基本的な知識・技能の習得

○思考力・判断力・表現力等の

○火を使うときには、換気と吸

水の量を適量に入れさせる。

○熱した試験管に触ってやけど

させないようにする。

○ガスバーナーを開くことと、マッチを点けることは、一人

で責任をもたせる。分担する

○ガスバーナーの開栓と着火

のタイミングがずれて事故に

つながることがあるので注意

する。

○実験の業務を通して

意欲 ○科学的な探究活動

○実感の伴う理解 ○自ら学ぶ

○確かな学力の定着を図る。

○基礎的・基本的な知識・技能の習得

○思考力・判断力・表現力等の

○火を使うときには、換気と吸

水の量を適量に入れさせる。

○熱した試験管に触ってやけど

させないようにする。

○ガスバーナーを開くことと、マッチを点けることは、一人

で責任をもたせる。分担する

○ガスバーナーの開栓と着火

のタイミングがずれて事故に

つながることがあるので注意

する。

○実験の業務を通して

意欲 ○科学的な探究活動

○実感の伴う理解 ○自ら学ぶ

○確かな学力の定着を図る。

○基礎的・基本的な知識・技能の習得

○思考力・判断力・表現力等の

○火を使うときには、換気と吸

水の量を適量に入れさせる。

○熱した試験管に触ってやけど

させないようにする。

○ガスバーナーを開くことと、マッチを点けることは、一人

で責任をもたせる。分担する

○ガスバーナーの開栓と着火

のタイミングがずれて事故に

つながることがあるので注意

する。

○実験の業務を通して

意欲 ○科学的な探究活動

○実感の伴う理解 ○自ら学ぶ

○確かな学力の定着を図る。

○基礎的・基本的な知識・技能の習得

○思考力・判断力・表現力等の

○火を使うときには、換気と吸

水の量を適量に入れさせる。

○熱した試験管に触ってやけど

させないようにする。

○ガスバーナーを開くことと、マッチを点けることは、一人

で責任をもたせる。分担する

○ガスバーナーの開栓と着火

のタイミングがずれて事故に

つながることがあるので注意

する。

○実験の業務を通して

意欲 ○科学的な探究活動

○実感の伴う理解 ○自ら学ぶ

○確かな学力の定着を図る。

○基礎的・基本的な知識・技能の習得

○思考力・判断力・表現力等の

○火を使うときには、換気と吸

水の量を適量に入れさせる。

○熱した試験管に触ってやけど

させないようにする。

○ガスバーナーを開くことと、マッチを点けることは、一人

で責任をもたせる。分担する

○ガスバーナーの開栓と着火

のタイミングがずれて事故に

つながることがあるので注意

する。

○実験の業務を通して

意欲 ○科学的な探究活動

○実感の伴う理解 ○自ら学ぶ

○確かな学力の定着を図る。

○基礎的・基本的な知識・技能の習得

○思考力・判断力・表現力等の

○火を使うときには、換気と吸

水の量を適量に入れさせる。

○熱した試験管に触ってやけど

させないようにする。

○ガスバーナーを開くことと、マッチを点けることは、一人

で責任をもたせる。分担する

○ガスバーナーの開栓と着火

のタイミングがずれて事故に

つながることがあるので注意

する。

○実験の業務を通して

意欲 ○科学的な探究活動

○実感の伴う理解 ○自ら学ぶ

○確かな学力の定着を図る。

○基礎的・基本的な知識・技能の習得

○思考力・判断力・表現力等の

○火を使うときには、換気と吸

水の量を適量に入れさせる。

○熱した試験管に触ってやけど

させないようにする。

○ガスバーナーを開くことと、マッチを点けることは、一人

で責任をもたせる。分担する

○ガスバーナーの開栓と着火

のタイミングがずれて事故に

つながることがあるので注意

する。

○実験の業務を通して

意欲 ○科学的な探究活動

○実感の伴う理解 ○自ら学ぶ

○確かな学力の定着を図る。

○基礎的・基本的な知識・技能の習得

○思考力・判断力・表現力等の

○火を使うときには、換気と吸

水の量を適量に入れさせる。

○熱した試験管に触ってやけど

させないようにする。

○ガスバーナーを開くことと、マッチを点けることは、一人

で責任をもたせる。分担する

○ガスバーナーの開栓と着火

のタイミングがずれて事故に

つながることがあるので注意

する。

○実験の業務を通して

意欲 ○科学的な探究活動

○実感の伴う理解 ○自ら学ぶ

○確かな学力の定着を図る。

○基礎的・基本的な知識・技能の習得

○思考力・判断力・表現力等の

○火を使うときには、換気と吸

水の量を適量に入れさせる。

○熱した試験管に触ってやけど

させないようにする。

○ガスバーナーを開くことと、マッチを点けることは、一人

で責任をもたせる。分担する

○ガスバーナーの開栓と着火

のタイミングがずれて事故に

つながることがあるので注意

する。

○実験の業務を通して

意欲 ○科学的な探究活動

○実感の伴う理解 ○自ら学ぶ

○確かな学力の定着を図る。

○基礎的・基本的な知識・技能の習得

○思考力・判断力・表現力等の

○火を使うときには、換気と吸

水の量を適量に入れさせる。

○熱した試験管に触ってやけど

させないようにする。

○ガスバーナーを開くことと、マッチを点けることは、一人

で責任をもたせる。分担する

○ガスバーナーの開栓と着火

のタイミングがずれて事故に

つながることがあるので注意

する。

○実験の業務を通して

意欲 ○科学的な探究活動

○実感の伴う理解 ○自ら学ぶ

○確かな学力の定着を図る。

○基礎的・基本的な知識・技能の習得

○思考力・判断力・表現力等の

○火を使うときには、換気と吸

水の量を適量に入れさせる。

○熱した試験管に触ってやけど

させないようにする。

○ガスバーナーを開くことと、マッチを点けることは、一人

で責任をもたせる。分担する

○ガスバーナーの開栓と着火

のタイミングがずれて事故に

つながることがあるので注意

する。

○実験の業務を通して

意欲 ○科学的な探究活動

○実感の伴う理解 ○自ら学ぶ

○確かな学力の定着を図る。

○基礎的・基本的な知識・技能の習得

○思考力・判断力・表現力等の

○火を使うときには、換気と吸

水の量を適量に入れさせる。

○熱した試験管に触ってやけど

させないようにする。

○ガスバーナーを開くことと、マッチを点けることは、一人

で責任をもたせる。分担する

○ガスバーナーの開栓と着火

のタイミングがずれて事故に

つながることがあるので注意

する。

○実験の業務を通して

意欲 ○科学的な探究活動

○実感の伴う理解 ○自ら学ぶ

○確かな学力の定着を図る。

○基礎的・基本的な知識・技能の習得

○思考力・判断力・表現力等の

○火を使うときには、換気と吸

水の量を適量に入れさせる。

○熱した試験管に触ってやけど

させないようにする。

○ガスバーナーを開くことと、マッチを点けることは、一人

で責任をもたせる。分担する

○ガスバーナーの開栓と着火

のタイミングがずれて事故に

つながることがあるので注意

する。

○実験の業務を通して
意欲 ○科学的な探究活動
○実感の伴う理解 ○自ら学ぶ
○確かな学力の定着を図る。

また、地域の青少対の方も毎週水曜日に協力をしてくれています。朝の登校時、保護者、地域の方が生徒を見守り、声を掛けてくださることは安全といふ面からも有効です。また、わが子の姿や生徒たちのありのままの姿を見ていただくことは、授業参観とはまた違った小さな学

一 挨拶運動

本校では毎朝、保護者の皆さんが挨拶運動を展開してくれています。各クラスが1週間を受け持ち、年3回36週に渡り実施してくれています。一学期は延べ112名の参加を得ています。今年で27年目になります。

わが校の特色ある教育

NO. 27

「九中の取り組み あれこれ」

府中市立府中第九中学校
校長 片倉 俊秀

校参観になっています。

活を送る上で欠かせない雰囲気づくり、心構えづくりに役立っています。

三 二期制の実施

本校は平成17年度から二期制を導入しています。市内では府中第一中と本校の2校が二期制をとっています。二期制は教育内容の充実を図るための一つの試みです。

最大のメリットは、比較的の無理なく授業時数を確保しやすく、バランスの良い教育課程の編成・実施ができる点です。

二 全校一齊朝讀書

生徒たちは5分前行動の8時15分には教室に入るよう心掛けています。そして8時20分から30分までの10分間、全校一斉の朝読書に取り組んでいます。読書は自分をつくり高めるための欠かせない活動です。また、

の充実

課題としては、導入が府中市全体での取り組みではなく単独校としての取り組みであり、他の学校との生活リズムがずれることがあります。部活の大会と定期考

書類の提出が困難な
査の重なりや、夏休み前に学習
補助簿はあっても通信簿がない
という問題があります。



四 生徒会の地域清掃

みとしてボランティアによる地域清掃があります。例年11月の第四土曜日に実施しています。休みにもかかわらず三年生を中心多くのが参加しています。その日は、PTA、青少年の方々も参加して炊き出しをしてくれます。生徒、保護者、地域の方が一体となつた一大イベントになっています。

ものにして欲しいと願つていま
す。

担任の教員にとっては、毎日 目を通すのは大変ですが、生徒 理解や生徒指導、生徒との信頼 関係づくりに役立っています。

てチャイムと同時に授業を開始するという取り組みです。毎時間の授業を大切にし、学力向上に努めています。

とめています。

一日の行動を振り返るという
行為を通して、正しい判断力を
養うとともに思索することの大
切さを知り、本校の教訓である
「自己への挑戦」をかたちある

This is a black and white photograph of an open notebook. The left page contains a hand-drawn calendar for September and October. The months are represented by stylized numbers: '9' for September and '10' for October. Inside these numbers are small illustrations of butterflies and flowers. The days of the month are numbered 1 through 13 and are arranged in a grid-like pattern. The right page of the notebook has two columns of handwritten Chinese text, which appear to be notes or a journal entry. The handwriting is cursive and organized into two distinct columns per line.

12月研修会・委員会等予定	日	曜	研修会・委員会等	会 場	研修内容等
	1	月	生活指導主任会	教育センター	全体会(連絡・検討事項) 小・中分科会
	4	木	就学指導協議会	教育センター	A・B部会
	5	金	小学校英語活動推進委員会	教育センター	全体会(連絡・検討)
	5	金	体力向上委員会	教育センター	全体会(連絡・検討)
	7	日	人権作文発表会	府中の森芸術劇場	児童生徒による人権作文発表
	8	月	特別支援学級代表者会	教育センター	代表者会、分科会
	9	火	初任者等研修会	府中第二中学校	授業研究
	10	水	幼稚園教諭研修会	矢崎幼稚園	保育研究(参観・協議)
	11	木	教務主任会	教育センター	全体会(連絡・検討事項) 小・中分科会
	11	木	ICT活用推進委員会	府中市美術館	授業研究
	12	金	食教育推進委員会	教育センター	全体会(講演会)
	19	金	学校図書館推進委員会	教育センター	全体会(連絡・検討)

現在、東京都教育委員会は、教育課程編成・実施・評議のための基準資料を作っている。また、府中市でも育課程編成資料作成委員会において、先生方の協力のもと、すべての教科・領域等において、編成資料を作成している。



教科・領域等の特質を生かした教育課程の編成・実施

活動などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努力することとする。」と示されている。

船刀鉄の「に一特い」
校における食育の推進並
びに体力の向上に関する
指導、安全に関する指導
及び心身の健康の保持増
進に関する指導について
は、体育科、保健体育科
の時間はもとより、家庭科、
科・技術・家庭科、特別

と、すべての教科・領域等において、編成資料を作成している。

現在、東京都教育委
は、教育課程編成・実施・
改善のための基準資料を
ている。また、府中市で
育課程編成資料作成委員
いて、先生方の協力のも

学級活動において、「食育」を扱う場合（2）での題材となる。

新進作家たちの熱い挑戦

健康・安全教育、環境教育等を指導する場合、どの教科・領域等で実施するかで、そのアプローチが違ってくる。だからこそ、より一層、教科・領域等の特質を生かした教育課程の編成・実施が行われることを期待している。(指導主事 出町 桜一郎)

した教育課程の編成・実施
とても大切だということ
が分かりました。」とい
うことでは、学級活動と
しては不十分である。
「私は、今日の授業を受
けて、野菜がとても大切
だということが分かりま
した。だから、私は、今
日から苦手な野菜を少し
ずつ食べようと思います。」
という集団思考を生かし
た個人目標の自己決定ま
で引き出すことが大切な
特質となってくる。

栄養の三大要素等を素材として指導を行う場合もあるが、最終的に、児童生徒の自己決定を促すことが学級活動の特質である。したがって、児童生徒の振り返りカード等に、「栄養の

学級活動において、「食育」を扱う場合（2）での題材となる。よくある授業展開として、養護教諭や栄養士が授業に入り、食に関する指導を行うことがある。

品が見どころである。

1月には、浅間中学校と美術館を会場に、東京都中学校美術教育研究大会が開かれる。今回 の出品作家の原高史氏と中学生とのコラボレーションが、府中第八中学校と浅間中学校で、進行中である。新進作家たちの熱い挑戦に瞠目してほしい。

近隣には、美術大学も多く、若い美術家たちが制作に励んでいる。才能を発掘し育成することも、この「府中ビエンナーレ」の大きな目的である。時代に敏感な若い人々にも親しまれ、注目を集めることで成長してきた。

現在、第四回展「トゥルー・カラーズ—色をめぐる冒険」を開催している。デジタル技術による人工的色彩のあふれる現代において、あらためて色の本質を問い直す企画だ。色の使い方について、色にこだわる作に特徴があり、色にこだわる作

家を紹介する企画展「府中ビエニナーレ」を開催してきた。ビエンナーレとは、隔年で行う現代美術の祭典であり、同時代性を重視したテーマを掲げ、多摩地域を中心に新しい美術の潮流

あとがき

◆お詫びと訂正
10月号の初任者等研修会の中では、氏名の誤りがありました。お詫びして訂正致します。(敬称略)
府中第十九小 杉村祥一郎→祥一朗
府中第五中 加賀田恒助→恒介
相次ぐ食品の安全に関する問題や金融危機による経済不況等暗いニュースが多い1年だったが、10月に日本人3人がノーベル賞受賞というビッグニュースが飛び込み、日本中が久々に湧いた◆受賞者の下村氏は、「子どもたちへのメッセージ」として「自分が好きなことは、あきらめずにとことんやりなさい」と語っている。研究用に大量のオランダ語を採取し根気強く研究を続けた人だけに重みのある言葉である◆折しも11月に行われた「府中の教育を語る会」では、「理科教育の可能性」をテーマに語られた。パネリストたちは、子どもの頃経験した自然との触れ合いの楽しさや、実験や観察などの楽しさに惹かれ理系への道のきつかけとしていた◆子どもたちの理科離れが懸念される。科学技術を基盤に工業を中心として成り立つ我が国にとっては憂慮すべき事態である。そのためには理科教育の充実が喫緊の課題である。(横山 洋)